

熊谷氏に単独インタビュー

県知事にあず就任

安房の復興・活性化へ

今後のビジョンを語る

先月21日に投開票された県知事選挙で、史上最多の140万票を獲得し初当選した元千葉市長の熊谷俊人氏（43）。あす5日付で新知事に就任するのを前に、房日新聞の単独インタビューに応じた。インタビューでは、プライベートでも毎年のように足を運んでいるという安房地域への思いや、安房地域の現状を踏まえた今後のビジョンを語ってくれた。

鋸南で第一声上げる

Q 開票結果を受けて

だけ県民の皆さんの期待が大きいのこと。特に、おとし

これだけの票を頂くのは当初想定していなかったもので、それ

の災害とコロナがある

て、知事という職種に

対する県民の危機感

がこういふ形

になったと思ってい



安房地域への思いを語る熊谷氏＝千葉市

が立候補の原動力なので、決意した時点で第一声は安房で行うと決めていた。

Q 実際に安房を見て、どんなことを感じた

空き家が増えている状況で台風があり、今もブルーシートが残っている。ブルーシートをどう解消するか、工

業者待ち、お金の問題、空き家といったそれぞれ

の状況に感じ

て、各市長たちと意見

交換をして、復旧復興

につなげていきたい。

自身が安房のファン

Q 安房地域の活性化には何が必要か

まず一つ目は、雇用と産業をどうつづけて

いくか。県として、安房地域の土地の状況を見て、可能性のある土地があるか、そこにと

ういう産業を呼び込むのか検討していく。

二つ目は、観光業として日帰りではない「宿泊型」をどう増や

していくか。観光面にもっと力を入れて、滞

在日数を増やし、落ち

るお金を多くするため

に、県としても支援し

ていきたい。

三つ目は、もっと富

裕層に来てもらい、お

金を落としてもらおう

力にふさわしい評価を受けられるようにしたい。

Q プライベートでも安房へ

かなりの頻度で行っている。家族で宿に泊

まって、のんびり海を

見て過ごす。妻にプロ

ポーズしたのも、館山

の北条海岸。妻も私も

美術が好きなので、鋸

南の菱川師宣記念館、

布良の青木繁海の幸

記念館に行ったり、勝

意見が一定量入るようになれば、自然とあか抜けていくと思う。

Q どんな知事を目指す

首長で大事なことは「ハブ」になること。その地域のためにいろ

んな人の力を結集する。東京、日本、世界の

の人など、安房のため

になんとかできる人

をどんどん連れてくる。

地元の人たちももっと

立ち上がって、エネル

ギーが一つになるよ

う、私自身現地に何回も行